

## 2016 年度第 1 回居住福祉入門講座 受講案内

『居住福祉』（早川和男、岩波新書、1997 年）は、以下の言葉で始まる。

『北欧では「福祉は住居にはじまり住居におわる」といわれる。良質の住居なしに福祉は成り立たないと考えられ、その視点から政府も住居の充実に力を注いでいる。他の西欧諸国も似た状況にある。だが日本での住まいにたいする政府の認識は想像できないほど遅れている。〈中略〉

……居住条件さえよければ介護はもっと楽になる、リハビリテーションもすすむ、自立できる、社会参加ができる、人間性もとりもどせる、第一こんなふうにならなかつたのではないか、という発想の余地のないのが、日本社会の現実なのである。』

経済成長は住居の果たしている役割を見難くしてきたが、バブル経済崩壊後の四半世紀にそのベールは剥ぎ取られた。日本社会ではお金がなくなれば簡単に住居を失うことが露になった。非正規労働による不安定収入、会社の倒産や定年退職後の収入減少、家族の介護や病気・事故による離職、自然災害など収入低下の原因は枚挙に暇が無い。その上、経済効率性を追求した集中と分散は過疎過密を助長し、世帯の縮小と孤立を招いている。住居の確保に困窮する者が増えているにもかかわらず公的住宅は増えず、国内の全住宅の 13.5%が空き家である。日本の居住貧困は「住居があれば…」という事態に至った。

「居住福祉入門講座」は、日本の居住貧困に対応し、居住を支える切実な課題としての「居住支援」を入り口としています。「居住支援」の必要性やその課題を通じて、人々の暮らしを支える居住条件に思いを巡らせてください。ハンディキャップがあっても高齢になってもいきいきと生きることのできる住居と居住地の存在自身が「居住福祉」です。人間にふさわしい居住が、いのちの安全や健康や福祉や教育やほんとうの豊かさや人間としての尊厳を守る基礎であり、安心して生きる社会の基盤であることを学んでください。そして「居住福祉」を実現する「居住福祉社会」を一緒につくりあげましょう。

日本居住福祉学会  
会長 早川 和男

## ■ 開催概要

- 日時 : 2016年4月16日(土)～17日(日)
- 開催場所 : I-site なんば C3 教室 (大阪府立大学サテライト)  
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号 南海なんば第1ビル  
Tel : 06-7656-0441 (代表)
- 定員 : 80名
- 費用 : 日本居住福祉学会会員 3,000円、非会員 5,000円 (テキスト代含む)  
情報交換会 3,500円 (希望者のみ)  
※参加費及び情報交換会参加費は当日受付でお支払いください。
- 申込期間 : 2016年2月1日(月)～3月25日(金)
- 受講資格及び要件 : なし (居住福祉に関心のある方はどなたでも受講できます)

主催 : 日本居住福祉学会 共催 : 大阪府立大学教育福祉研究センター

### [申込先およびお問い合わせ先]

日本居住福祉学会事務局 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学大学院生活科学研究科 野村恭代研究室気付

Tel : 06-6605-2913 Fax : 06-6605-3086

E-mail : [nomura@life.osaka-cu.ac.jp](mailto:nomura@life.osaka-cu.ac.jp)

## ■ スケジュール

1日目：4月16日（土） 会場：I-site なんば C3 教室

9:30	—	10:00	受付	
10:00	—	10:10	開会挨拶	中山徹（日本居住福祉学会副会長）
10:10	—	10:15	オリエンテーション	事務局
10:15	—	11:05	居住支援アプローチと居住福祉の実践	全泓奎 （大阪市立大学都市研究プラザ教授）
11:05	—	11:55	本人を主体とした居住支援	野村恭代（大阪市立大学大学院生活科学研究科准教授）
11:55	—	13:05	昼食	
13:05	—	13:55	高齢期の居住に関する意識	黒木宏一（新潟工科大学工学部准教授）
13:55	—	14:45	「不安定居住者」に対する居住保障	中山徹 （大阪府立大学人間社会学部教授）
14:45	—	15:00	休憩	
15:00	—	15:50	居住福祉産業の思想と可能性	神野武美（フリージャーナリスト）
15:50	—	16:40	障がいのある人への居住支援	小板橋恵美子 （淑徳大学看護栄養学部准教授）
16:40	—	16:50	事務連絡	事務局
17:30	—	19:30	情報交換会	

\* 情報交換会：調整中（会場近辺で開催の予定）

2日目：4月17日（日） 会場：I-site なんば C3 教室

9:00	—	9:30	受付	
9:30	—	10:20	単身高齢・居住困難者への居住支援	小林真（一般社団法人近畿パーソナルサポート協会理事長）
10:20	—	11:10	誰もが安心して暮らし続けることのできるまちづくり	石川久仁子（大阪人間科学大学人間科学部准教授）
11:10	—	12:20	昼食	
12:20	—	13:10	香港における都市問題の現状と居住福祉の役割	コルナトウスキ ヒェラルド（大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員）
13:10	—	14:00	中国の居住貧困問題と社会的排除	閻和平（大阪商業大学大学院地域政策学研究科教授）
14:00	—	14:10	休憩	
14:10	—	15:00	ケア付き支援住宅の現状と課題	水内俊雄 （大阪市立大学都市研究プラザ教授）
15:00	—	15:50	日韓の社会的企業が取り組む居住福祉問題	水野有香 （名古屋経済大学経済学部准教授）
15:50	—	16:00	休憩	
16:00	—	16:50	居住支援事業の実際と展望	岡本祥浩（中京大学総合政策学部教授）
16:50	—	17:20	受講証明書授与	中山徹（日本居住福祉学会副会長）
17:20	—	17:30	閉会挨拶	岡本祥浩（日本居住福祉学会副会長）